

2026年度

(医学部医学科 学校推薦型選抜Ⅱ)

問題冊子

教 科 等	ページ数
小 論 文 I	3

試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。

解答の書き方

1. 解答は、すべて別紙解答用紙の所定欄に、はっきりと記入すること。
2. 解答を訂正する場合は、きれいに消してから記入すること。
3. 解答用紙には、解答と受験番号のほかは、いっさい記入しないこと。

注 意 事 項

1. 試験開始の合図の後、すべて（2枚）の解答用紙に受験番号を必ず書くこと。
2. 試験終了時には、解答用紙を必ずページ順に重ね、机上に置くこと。
3. 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。

以下の文を読んで、設問に答えなさい。

著作権者の許諾が得られないため、本文を省略しています。

著作権者の許諾が得られないため、本文を省略しています。

(出典: Global, regional, and national prevalence of adult overweight and obesity, 1990–2021, with forecasts to 2050: a forecasting study for the Global Burden of Disease Study 2021, Lancet. 2025 Mar 8;405(10481):813-838. 一部改変)

記述式問題における「文字数」には、すべての文字種（漢字・ひらがな・カタカナ・数字・英字・句読点）を1文字とします。

問1 本文で述べられている肥満の世界的な状況、将来予測、およびそれが医療システムに与える影響について、要約しなさい。（日本語 300 字以内）

問2 本文に基づき、高所得国と低・中所得国が直面している肥満関連の課題の主な違いについて、それぞれ3つ箇条書きで書きなさい。（各項目は1～2行で日本語で記述すること）

問3 本文で示されたコホート分析から明らかになった世代間の肥満に関する2つの主要な傾向と、それが公衆衛生上改善すべき点を1つ、それぞれで箇条書きで挙げなさい。（各項目は1行で日本語にて記述すること）

問4 本文は肥満の世界的拡大の要因として「商業的要因」を挙げている。この問題に対処するためにどのような政策を優先的に実行するか、本文の根拠を挙げ、あなたの考えを述べなさい。（日本語 100 字以内）

問5 本文は、将来的に世界の成人の半数以上が過体重または肥満になると予測している。この「ポリクライシス（複合危機）」に対し、臨床医として最も重要になる資質・能力は何か。本文の根拠と、あなた自身の考えを結びつけて、最も重要と考える能力を1つ挙げ、その理由を述べなさい。（日本語 300 字以内）